

# 消防協力者に対する感謝状の贈呈

平成30年2月16日（金）守口市内で発生した建物火災において、87歳男性が建物内に取り残されるという事案がありました。被表彰者の片岡準一さんが出掛けようとした際、火災に気づき、逃げ遅れがいることを確認すると、自らの危険を顧みず建物内に入り廊下に倒れている男性を発見し、建物外に搬送しました。

その後、出火建物は全焼その他類焼という火災規模を考えると、迅速かつ的確な行動がいかにかに勇気のある行動だったかと考えられます。この人命救助活動に対して、守口消防署長より感謝状を贈呈しました。

日時：平成30年3月8日（木）13時30分

場所：守口消防署 署長室

## 消防協力者のコメント

片岡さん 「出火建物に逃げ遅れがいるということを聞き、自分の危険は考えず、自分がいくしかないと思いました。」

